

新陵中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

新陵中学校 新陵小学校 新陵東小学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において
「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る



全市共通で推進する「二つの柱」

①課題探究的な学習

②発達の段階に応じた継続的な子ども理解

札幌市の「小中一貫した教育」推進の四つの視点

①

②

③

④

9年間を通した子どもの
学びのつながり

子ども理解・生徒指導の
連続性

教職員の連携・協議

家庭や地域との関わり

R7年度重点！

組織図と学校教育目標



新陵小学校

「豊かに生涯を生きぬき、
未来社会の創造に寄与する
人間の育成を目指して」



新陵中学校

「未来を豊かに拓く
生徒の育成」



新陵東小学校

「豊かな心と創造的な知性に支え
られた、心身ともにたくましい
子どもの育成をめざして」

新陵中学校区・目指す15歳の子ども像

創造への学力を身に付け 豊かな心、思いやりの心を持ち 心身ともにたくましい人

地域の実態・願い

地域町内会は自分たちが創った学校だという意識があり、学校に対する期待度も大きく、協力的である。地域の商店や事業所とは、ボランティア活動や職業体験などでつながりがあり、地域全体で子どもの成長を温かく見守っている。学校教育に対する理解があり、協力的である。核家族、共働きの家庭が多い。総じて、学校での学習支援の推進に期待する保護者が多い。保護者が卒業生であるという家庭も増えてきている。

子どもの実態

とても素直で明るく元気で、場をわきまえて行動することができる。行事等では、積極的に取り組む子どもたちが多い。家庭での学習習慣があまり身に付いていない子どもも見られる。個別の支援を必要とする子どもも増えていることから、基礎学力の向上を視野に入れ、自ら学び、粘り強く問題解決に向かう力の育成を充実させたい。

二つの柱と四つの視点を踏まえて考えられる教育目標

目指す教育

知

- ・主体的に学ぶ力の育成
- ・自ら課題をもち、ねばり強く解決する力の育成
- ・授業の中で根拠を示して自分の考えを整理する力の育成
- ・仲間と協力しながら問題を解決する力の育成

徳

- ・思いやりと笑顔で感謝の気持ちを持ち、自他を尊重する心の育成
- ・集団の中で自己肯定感を感じる心の育成
- ・困難に、立ち向かう心の育成

体

- ・体力・運動能力の向上への意欲・関心を高める力の育成
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるとともに、主体的に健康な生活を送ろうとする力の育成
- ・生命・性に関する正しい知識をもち、正しく行動する力

具体的な取組

二つの柱と四つの視点を踏まえて考えられる具体的実践			
知	徳	体	
* 目指す教育を踏まえた9年間の取組			
発達段階に応じた a 小1～小4 b 小5～中1 c 中2～中3 の具体的な取組			
a b c 基礎基本の確実な習得と課題探究的な学習の充実 a b c 始業前着席と授業準備の習慣化 a b c キャリアパスポートの充実と継続 b 小・中連携した体験授業、授業見学等の実践、相互研修 b c 学習カリキュラムの工夫 b c 1人1台端末を学習に生かす指導の充実（ICTを活用した教育の推進） a b c 小中連携した家庭学習習慣の確立	a b c 学校間の児童・生徒交流の推進 a b c 目指す15歳の子どもの像に迫るための子ども理解の交流 b c 児童会活動と生徒会活動の連携 b c 外部講師を招聘してのキャリア講話や道徳の実施 b c 道徳科の学びと特別活動の連携を図った取組 b c 旅行的行事や校外活動の取組内容の連携と学びの深化	a b c 休み時間の運動推奨 a b c 体育的行事の取組 b c 部活動の紹介と活発な活動 b c 食育に関する共同研究 b c 性に関する指導の実施	

令和7年度のスケジュール											
令和7年度は、管理職会議と実務担当者会議を合同開催											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①+研	CS① ②+研	(③)								④	CS②
①：年度初めの顔合わせ会議（推進計画の確認と札教研春の研究集会の検討）						< R7 年度以降は新陵中が主幹 >					
CS①: 「管理職会議」を兼ねる。グランドデザインと推進計画を提示し承認を得る。						< R7 年度以降は新陵中が主幹 >					
②+研究担当：札教研春の研究集会実施要領の確認、今後に各推進事業の日程調整						< R7 年度以降は新陵小が主幹 >					
③：札教研春の研究集会の反省とまとめ（※校務支援メッセージで）						< R7 年度以降は新陵東小が主幹 >					
④：年度末評価と次年度の課題および実施予定の連携事業の実施時期の確認						< R7 年度以降は新陵東小が主幹 >					
CS②：3校の学校関係者評価、評価・課題・次年度実践計画への意見						< R7 年度以降は新陵中が主幹 >					
令和7度の主な取組（予定）											
教員相互の研修			6月	新陵小・新陵東小・新陵中				札教研事業（新陵中が公開授業、グループ別協議）			
			8月	新陵小・新陵東小・新陵中				合同研修（「命」に関わる研修）			
模擬授業体験・中学校見学			7月～	新陵中				「中学校へ行こう！」（部活動体験会開始）			
			10月	新陵中				「合唱発表会」を6年生が鑑賞			
			2月	新陵中				小学生が中学校を訪問する形態で実施			
児童・生徒交流			7月	新陵小・新陵東小・新陵中				3校児童会・生徒会オンライン交流			
			8月	新陵中				「さっぽろっ子サミット」参加			
			9月	新陵中				3校合同ボランティア清掃			
			11月	新陵中				3校合同いじめ撲滅運動			
			1月	新陵小・新陵東小・新陵中				走り方教室、会場は小学校2校			
新入生保護者説明会			2月	新陵中				新入生保護者への学校説明			
子ども理解引継ぎ			3月	新陵中				学習状況・生活状況等の引継ぎ			

令和6年度の評価と次年度へ向けて（新陵中学校区）

連携事業	実施時期	実施内容	評価	次年度への課題	次年度
（１）体験授業・授業参観等の学習に関して					
① 模擬授業体験・中学校見学会	2月	新陵東小学校2月18日、新陵小学校2月19日に、小学校6年生が新陵中学校に来校し授業見学、模擬授業を行った	◎	次年度も同様に行っていく。	継続
（２）児童・生徒の交流					
① 部活動見学	7月～3月	中学校各部の実状に応じて、小5・6を対象に実施	◎	次年度は準備でき次第実施。年度途中で再度お知らせする。	継続
② 児童会・生徒会交流	7月	児童会と生徒会がオンラインで実施。「さっぽろっ子サミット」に向けた取組の交流	◎	日程を調整し実施。連携して取り組むことができる内容の検討。「さっぽろっ子サミット」テーマについての協議・交流	継続
（３）教員の交流					
① 長期休業の時差を活用しての教員相互研修	6月・8月	6月11日「札幌研春の研究集会」新陵東小が公開授業を行い、その後協議。「あいさつ」の取組をテーマにグループ別討議。8月23日に「3校合同CS研修会」を中学校を会場に実施。	◎	次年度は新陵中が担当する。夏季休業中に、合同研修会を開催。テーマについては検討する。	継続
② 校内研修会への相互の参加	通年	各校の研修会の情報を共有し、少人数だが相互に参加し、研修を深めた。	○	実務担当者間で情報共有をし、それぞれの学校内で開催情報を伝えるルートで進める。	継続
③ 特別支援を必要とする子どもを含めた生徒理解・情報交流	3月	例年通り実施	◎	例年通り実施していく。	継続
（４）保護者・地域との交流					
① 中学校新入生保護者説明会	2月	学校紹介	○	例年通り実施していく。小中で実施日の調整を図る。	継続
② 健全育成会への参加	7月	コロナ禍後、参集形式で初開催。	◎	次年度も同様に実施していく。	継続
（５）9年間の系統性・連続性のある教育					
① 走り方教室	1月	小学生の発達段階別に3部構成で実施（小学校2校を会場）。	◎	次年度も同様に実施していく。	継続
（６）次年度以降の新たな取組					
キャリアパスポートの充実	通年	小学校2校で共通のものを作成し、使用。	△	中でも活用できるよう、小から中への引継を確実に行う。	継続
家庭学習の充実	通年	小学校2校で共通の「家庭学習シート」を作成し、使用。	△	小小で家庭での学習習慣作りに取り組んでいくが、中とも共有。	継続
登下校の子どもも交通事故防止へ向けての取組	通年	現在はスクールゾーン実行委員会を中心に取り組んでいる。	×	小中一貫した教育やCSとは別の扱いとする。	協議

◎大変評価できる ○評価できる △今年度実践できなかったまたは今後に向けて改善が必要